

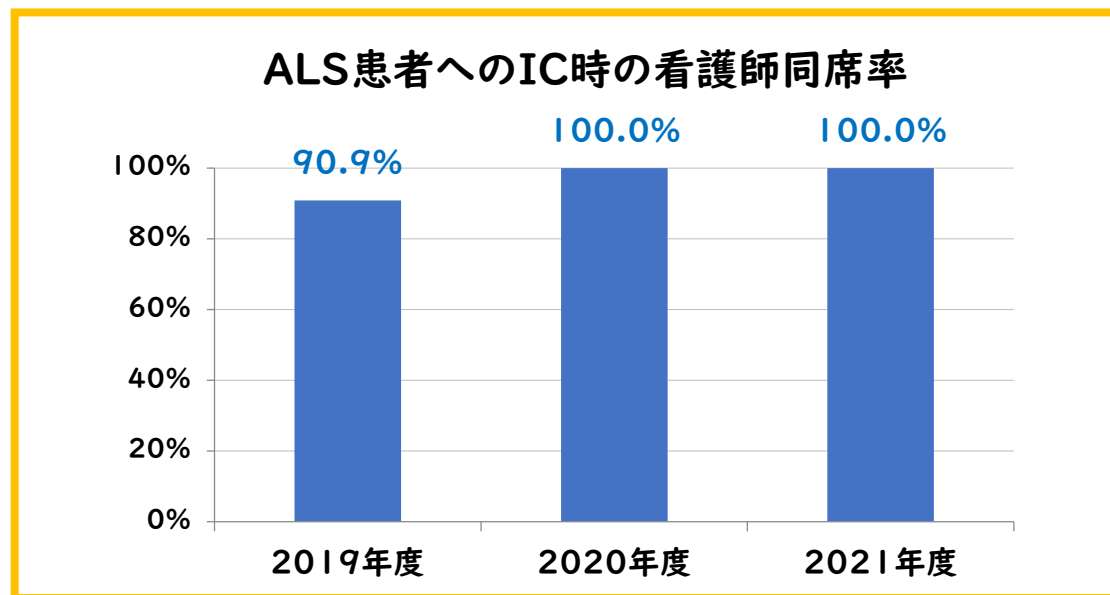
5 筋萎縮性側索硬化症患者へのインフォームドコンセント時の看護師同席率

脳神経内科

◆解説◆

近年、ALS患者の当院への入院数が増えています。診療ガイドラインによると多職種連携診療チームがかかわることで生命予後が延長し、合併症が減りQOLが向上すると言われています。早期からの多職種によるサポートを推進する指標になると考えます。

◆当院の実績◆



◆自己点検評価◆

病棟担当医と病棟看護師の意識向上により改善が得られました。引き続き継続できるよう努力します。

◆定義◆

筋萎縮性側索硬化症患者において、電子カルテ医療文書「患者および家族への説明記録」(医師)に対する電子カルテプログレス「インフォームドコンセント同席」記録記載者(看護師)の記載率(患者数ではなく延べ件数)